

日時：平成 28 年 3 月 8 日（火）19：00～21：00

場所：アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター 4 階研修室（佐賀県佐賀市天神 3-2-11）

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、中倉、川辺、原、佐藤、寺崎、村岡、野崎、田平、  
鶴田、本山、石原、熊谷（16 名）

## I. 報告事項

### 1. OT 協会関連

#### 1) 日本作業療法士協会報告

①3協会合同都道府県士会長会議 協議事項：3士会協働での市町村窓口設置推進に向けて 倉富会長出席

②50 周年記念事業企画にて、OT フェスタ、未来の作業療法士に繋ぐ広報活動（パンフレットの印刷）案を  
協会に提出。⇒協会より 3 月の理事会を経て返答がある予定。

#### 2. 九州士会長会関連

##### 1) 平成 27 年度 第 3 回都道府県作業療法士会九州支部会

- ・日時：平成 28 年 1 月 30 日（土）13：00～16：00 ・場所：九州中央リハビリテーション学院
- ・出席者：志井田（福岡県）、倉富（佐賀県）、高森（大分県）、沖（長崎県）、津輪元（宮崎県）、  
竹田（鹿児島県）、比嘉（沖縄県）、内田（熊本県）、高木・大平（事務局）

##### ①九州 PT・OT 合同学会関連報告:

###### （1）2015 年 大分学会報告

高森：参加者数内訳は PT883 名、OT368 名、（内学生 172 名、一般 2 名、他 7 名。）合計 1432 名、非会員  
PT13 名、OT12 名。決算額は黒字だった。残金は PTOT それぞれに返金する。大きなトラブルなく無事に  
終了した。次回士会長会議時にまとめて書式で結果報告する。

###### （2）2016 年 鹿児島学会準備状況

竹田：九州理学療法士・作業療法士合同学会 2016in 鹿児島の進捗状況が説明された。学会長は鹿児島県作  
業療法士会竹田会長。会場は駅から少し遠いが施設の規模的に鹿児島市民文化ホールとしている。優秀演題  
については、様々な検討を行った結果、査読時の点数で判断すると決定した。

###### （3）2017 年 宮崎学会準備状況

津輪元：本年度 2 月に局長と各部が集まり企画運営会議実施予定。大会運営システム、宿泊委託業者の選定  
中。次年度 6 月までには講師選定を終了する予定。

##### ②平成 28 年度 事業予定について

- ・リーダー養成研修会：平成 28 年度も継続して熊本県担当。開催地は未定。
- ・臨床実習指導者養成研修会：熊本市内で 10 月頃開催予定。研修会マニュアルは長崎県から引継ぎ。  
九州各県一巡する。
- ・事務局長会議：本年度 1 月 31 日開催。平成 28 年度以降内容は会議にて検討する。
- ・広報戦略会議：本年度中に会議を実施し、広報する対象年齢の引き下げ等も検討予定。
- ・現職者選択研修（MTDLP）：H28 年度より現職者選択研修に MTDLP の基礎研修が追加される為、各県で  
選択研修の領域を決定し情報交換するようにし会員へ広報していくように準備する。また、MTDLP 基礎研  
修においても各県乗り入れが可能になるように、日程調整を含めて各県推進担当者に連絡する。

- ・第1回九州支部会 : 平成28年 5月28日(土) (東京) 代議員総会の後開催予定。  
(平成27年度の決算報告をする予定。)
- ・第2回 " : 平成28年11月11日(金) (鹿児島県) 開催予定。
- ・第3回 " : 平成29年 1月 or 2月 (熊本) で開催予定。

### ③合同学会あり方検討委員について

今後の合同学会は、小委員会を作り企画し、宮崎県で開催される合同学会までに方向性を決定する提案がなされた。PTは長崎県、佐賀県、福岡県の会長が委員として選出。OTは大分、宮崎、鹿児島の会長を選出。

### 2) 九州作業療法士会会長会主催「合同研修会」企画報告: (福岡県)

- ・日時: 平成28年1月30日(土) 14:00~17:00と31日(日)
- ・場所: 九州中央リハビリテーション学院
- ・内容: ①「集団を活かすコミュニケーション」  
講師: 山田 美津子 先生 (T-Wing 代表、コーチ・コミュニケーショントレーナー)
- ②「地域ケア会議の模擬事例から助言内容を考える~大分県の取り組み~」  
講師: 佐藤 暁 先生 (大分県作業療法協会 常務理事 作業療法士)

### 3) 九州支部事務局長会議

- ・日時: 平成28年1月31日(日) 10:00~11:30
- ・場所: 九州中央リハビリテーション学院 ・出席者: 川辺事務局長

## 3. 県士会関連

### 1) 佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

- ・主催: 佐賀県健康福祉本部健康増進課 平成28年2月17日(水) 倉富会長出席
- ・内容: 高次脳機能障害者支援コーディネーターの活動報告、来年度からの高次脳機能障害者支援事業など
- ・高次脳機能障害者支援施設のアンケートを実施予定

### 2) 佐賀県リハビリ3団体協議会

- ・平成28年3月22日 19:00~ 各会長・副会長・事務局長会議
- ・平成28年度の一般社団法人化 ⇒ 事務局会議で定款(案)作成中
- ・司法書士法人アドヴァンスへ登記の依頼

### 3) 佐賀県医師会在宅医療連携推進事業連絡会議

- ・平成28年3月2日(水) 倉富会長出席(山口副会長の代理)
- ・郡市医師会における在宅医療連携推進事業 ⇒ 8郡市医師会別に窓口施設設置
- ・佐賀県地域医療構想(案) ⇒ 2025年に向けて佐賀県での病床数及び医師・看護・PT・OTの必要数を検討する。特に在宅医療に従事する訪問系の人を推計する必要がある。

(現在第6次医療では、リハ職は参加していないが、第7次ではリハ職も参入できるよう働きかける)

### 4) 佐賀県在宅生活サポートセンター関連

- ・3月9日(水) 福祉用具普及事業運営協議会、センター運営協議会開催
- ・介護ロボット普及事業(テクノエイド協会主催 平成26年10月~平成27年3月) 報告書作成

## 5) 佐賀県訪問リハ研修会特別講演

- ・平成 28 年 3 月 26 日（土）17：00～18：30 佐賀県在宅生活サポートセンター
- ・参加費：無料
- ・テーマ：これからのリハビリテーション～活動・参加を支援するとは～
- ・講師：内田 正剛先生（作業療法士・熊本県士会）

※現在、OT 参加が少ない。多くの会員の参加をお願いしたい。

## II. 協議事項

### 1. 県士会関連

- 1) 平成 28 年度事業計画及び予算案
- 2) 平成 28 年度県士会学会

#### ①準備委員長の選任

- ・現在、田平地区担当部長が就任しているが 3 月一杯で佐賀県を離れられる。
- ・平成 28 年度からの鳥栖三神地区の地区担当は松尾崇史（県教育部員：西九州大学）が就任予定であるが、学会予定日に予定が入っており午前不在とのこと。
- ・鳥栖三神地区の準備委員会にて選出する。候補は県士会の役員に着任してもらうのがよい。

## III. 各部局からの報告および検討・審議事項

### ①学術局（江渡学術局長より報告）

#### 1) 平成 28 年度協賛金について

- ・4 団体に給付。本制度は 2016 年度にて終了。5 月の総会成立後に協賛金を支払う予定。

#### 2) 士会長裁量ポイントの発行について

- ・3 月現在 144 名（299 ポイント）を発行予定。未提出の部局、委員会は早めに提出を行う事。

### ②学術部（江渡学術局長より報告）

#### 1) 平成 27 年度学術研修会について

- ・第 55 回研修会：平成 28 年 3 月 13 日（日）テーマ「認知症」申し込み 40 名程度

#### 2) 平成 28 年度学術研修会について

- ・第 56 回：テーマ「集団作業療法」。6 月 12 日（日）東西松浦地区で予定。講師は 27 年度と同じく、川口先生（結城病院）で進めている。前日に closed であるが集団のデモを行う予定。
- ・第 57 回：テーマ「就労支援」。10 月 23 日（日）佐城地区で予定。講師は岩永竜一郎先生（長崎大学）。
- ・第 58 回：テーマ「回復期」。11 月 20 日（日）鳥栖三神地区で予定。講師は小林央先生（大田市立病院）、椎野良隆先生（竹田総合病院）の予定。

### ③教育部（中倉教育部長より報告）

#### 1) 平成 28 年度現職者研修（生涯教育）について

- ・共通研修（予定）：5 月 22 日（日）りふれ、8 月 7 日（日）鳥栖三神地区
- ・選択研修（予定）：7 月 10 日（日）身障領域：武雄市文化会館、7 月 24 日（日）MTDLP 基礎：アバンセ。

## 2) 生涯教育推進委員について

- ・佐賀県は中倉教育部長と前田学術部長が担当となる。

## ④事務局（川辺事務局長より報告）

### 1) 会員数 498名

⇒今年度末での異動は3月31日までに書面にて事務局に提出をお願いしたい。

### 2) 次年度活動計画及び予算案の資料送付

⇒3月7日に郵送、理事運営会議参加者は本日手渡し。

\*同封書類：活動協力のアンケート、佐賀県リハ3団体協議会の活動に関する内容、「エキスパート育成委員会<福祉用具>」の活動に関する内容、異動・入会届

### 3) 事務局長会議

- ・平成28年1月30日（日）9:00～九州中央リハビリテーション学院にて開催

#### ・内容

- ・県士会予算の各部局への予算配布方法について

⇒原財務部長より、決算は現状の年1回（年度末の）で特に問題はない。現行通りで対応。

- ・表彰推薦依頼に対する手順について（被表彰者の選定～手続きについて）

⇒他県士会の動きをみても、ゆくゆくは常設委員会として表彰委員会の県士会内に組織する必要もある。

- ・マイナンバーについて ⇒ 今後取り決めなど必要。年間の謝金が5万円以上になると必要。

## ⑤庶務部（熊谷庶務部長より報告）

### 1) 会員管理システムについて

- ・年に1回、会員管理システムのバージョンアップもあり、会議に参加する必要がある（旅費負担は協会となる予定）。

### 2) 協会の休会制度の取り扱いについて

- ・協会に休会申請している県士会員が数名いる。これまで県士会には休会制度を設けていなかったが、協会に準じた仕組みを取り入れる必要がある。

⇒県士会の休会制度も整える。定款を確認後、整備する。

## ⑥事業局（佐藤事業局長より報告）

- ・特別支援教育関連 2月21日（日）に研修会を実施。講師は佐賀市の教育委員会、OT15名参加。

## ⑦事業部（寺崎事業部長より報告）

- ・50周年記念事業に関して、9月25日（日）のOTの日に併せてOTフェスタを実施する方向で進めていく。

## ⑧第17回佐賀県作業療法学会（田平地区担当部長より報告）

- ・前日の5月14日（土）は西九州大学にて各地区対抗スポーツフェスタを実施。事前の申し込み用紙を作成。

窓口は各地区担当理事をお願いしたい。4月15日前後で締め切りを設ける。各地区担当理事には10名以上の参加をお願いしたい。

## ⑨佐城地区（野崎地区担当部長より報告）

- ・地域ケア会議および地域支援事業関連に関わる人員のリストアップを行っている。3~6名ほど確認できた。今後も各施設に連絡し、リストアップできるよう働きかけていく。

⑩杵藤地区（鶴田地区担当部長より報告）

- ・エキスパート育成事業の福祉用具へ参加できる会員を今後検討していく。

⑪東西松浦地区（本山地区担当部長より報告）

- ・エキスパート育成事業の福祉用具には江里口 OT（山口病院）、山崎 OT（河畔病院）を検討している。
- ・地域ケア会議に関しては伊万里地区で実施されている。ケア会議に出向した会員を中心に振り返りを行い、課題や検討事項をまとめている。

⑫在宅生活サポートセンター（石原所長より報告）

1) センターの工事について

- ・3月10日（木）に近隣住民への説明会実施。工期に関しては当初の10月から伸びる予定。平成29年1月頃までかかる可能性もある。

⑬生活行為向上マネジメント推進委員会（小池推進委員長より報告）

1) MTDLP 事例検討会について

- ・27年度は2回開催済み。事例報告者は41名。実践者研修修了者は43名となっている。
- ・28年度は5回実施予定。決定している日程は6月18日（土）、8月28日（日）、ともにサポートセンター予定。案内文書を4月に送付予定。28年度より、生涯教育の事例報告の読み替えも可能となるため、参加費について検討。事例発表者は参加費1000円（ポイント2）、聴講者は無料（ポイントなし）とし、多くの聴講者を取り入れ、次回の発表者としてつなげていく。

⑭エキスパート研修、シーティング（江渡学術局長より報告）

- ・1月23日（土）サポートセンターにて会議実施。サポートセンターのシーティングルームや今後の研修会についての概要書作成。
- ・1月30日（土）基礎研修を相知で実施。参加者20名。28年度は杵藤地区と鳥栖三神地区で開催予定。

⑰その他

1) 第2回在宅医療介護連携部会について（山口副会長より報告）

- ・今後は多職種が連携を深める目的で事業を展開していく。また、情報共有目的で、お互いの職種の研修会を多職種に紹介する事業もあり。例えば、OTで他職者も含む研修会を企画した場合、その旨を佐賀県介護保険事業連合会に連絡をすることで、他職種にも案内される仕組みとなる。